

令和 7 事業年度

決 算 報 告 書

第 2 2 期事業年度

自：令和 7 年 4 月 1 日

至：令和 8 年 3 月 3 1 日

国立大学法人九州大学

令和7年度決算報告書

国立大学法人九州大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	38,572	42,099	3,527	(注1)
うち補正予算による追加	－	1,455	1,455	
施設整備費補助金	3,105	2,052	△ 1,053	(注2)
船舶建造費補助金	－	－	－	
補助金等収入	3,539	7,651	4,111	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	31	31	－	
自己収入	70,315	85,991	15,675	
授業料、入学料及び検定料収入	10,147	9,269	△ 877	(注4)
附属病院収入	59,337	62,490	3,153	(注5)
財産処分収入	0	11,269	11,269	(注6)
雑収入	831	2,963	2,131	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	23,274	25,834	2,559	(注8)
引当金取崩	364	451	86	
長期借入金収入	2,869	2,836	△ 32	
貸付回収金	－	－	－	
目的積立金取崩	224	88	△ 136	(注9)
引当特定資産取崩	－	－	－	
大学運営基金取崩	－	－	－	
計	142,298	167,038	24,740	
支出				
業務費	105,534	109,758	4,223	(注10)
教育研究経費	50,122	47,835	△ 2,286	
うち教育・研究基盤維持経費等(補正予算分)	－	1,455	1,455	
診療経費	55,412	61,923	6,510	
施設整備費	6,006	4,920	△ 1,085	(注11)
補助金等	3,124	5,348	2,223	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	23,274	24,981	1,706	(注13)
貸付金	－	－	－	
長期借入金償還金	4,358	15,325	10,967	(注14)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	142,298	160,334	18,036	
収入－支出	－	6,704	6,704	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった教育・研究基盤の維持に係る予算が追加交付されたこと等により、予算額に比して決算額が3,527百万円多額となっています。
- (注2) 一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が1,053百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が4,111百万円多額となっています。
なお、本収入には、授業料等減免費交付金が1,466百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料免除実施額の増による授業料収入の減収等により、予算額に比して決算額が877百万円少額となっています。
- (注5) 診療実績の増加等により、予算額に比して決算額が3,153百万円多額となっています。
- (注6) 前年度以前における財産処分収入の繰越額により民間金融機関より借入れた資金の返済を行ったこと等により、予算額に比して決算額が11,269百万円多額となっています。
- (注7) 主として土地貸付料の増収等により、予算額に比して決算額が2,131百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が2,559百万円多額となっています。
- (注9) 一部事業の翌年度繰越等により、予算額に比して決算額が136百万円少額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、業務達成基準適用事業を翌年度へ繰越したこと等により、予算額に比して決算額が2,286百万円少額となっています。診療経費については、(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が6,510百万円多額となっております。
- (注11) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,085百万円少額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が2,223百万円多額となっています。
- (注13) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,706百万円多額となっています。
- (注14) 民間金融機関より借入れた資金の返済を行ったこと等により、予算額に比して決算額が10,967百万円多額となっています。